

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成24年12月20日(2012.12.20)

【公表番号】特表2012-514863(P2012-514863A)

【公表日】平成24年6月28日(2012.6.28)

【年通号数】公開・登録公報2012-025

【出願番号】特願2011-544842(P2011-544842)

【国際特許分類】

H 0 1 L 21/027 (2006.01)

G 0 2 B 7/198 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 21/30 5 3 1 A

G 0 2 B 7/18 B

【手続補正書】

【提出日】平成24年10月30日(2012.10.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

ファセットミラー(13, 14; 47; 64; 67; 70)を構成する個別ミラー(139)であって、

該個別ミラー(21; 99; 112; 126; 138)のミラー本体(79)が、剛性のキャリア体(81)に対して少なくとも1つの傾斜軸を中心に傾斜可能に構成される、個別ミラー(139)において、

前記少なくとも1つの傾斜軸を中心とした傾斜制御用のアクチュエータ(119)が、

第1の継手本体に可動に接続される移動電極(120)と、

第2の継手本体に剛接続される対向電極(122)と、

を有し、

誘電体層(123)が、前記移動電極(120)と前記対向電極(122)との間に配置され、

前記対向電極(122)は、前記誘電体層(123)を介して前記移動電極(120)の接触面部分(124)に直接当接し、前記アクチュエータ(119)の無力状態では、離間面部分(125)での前記対向電極(122)と前記移動電極(120)との間隔が連続的に拡大し、前記移動電極(120)が前記第1の継手本体に接続される接続領域(121, 129)が、前記離間面部分(125)に位置付けられ、

前記移動電極(120)は、個別の傾斜位置に応じて、前記離間面部分(125)に隣接する領域を介して、前記誘電体(123)にさらに当接することを特徴とする、個別ミラー。